

とうべつ

手にとって <sup>ぐ〜っと</sup>good 身近に



WEB 版はこちら

# 議会だより



No. 211

令和4年12月1日発行

## CONTENTS

## 8月臨時会・9月定例会

予算の使われ方を厳しくチェック・・・・・・・・・・・・・・ p. 2

特集1 介護サービス事業の経営

特集2 除排雪の課題解決へ「当別モデル」に多くの質問

特集3 当別町独自の学習支援 子育て世帯が住みよいまちへ

8人の議員が町の考えを質す・・・・・・・・・・・・・・ p.12

・安心・安全の当別町に！

・子育てにやさしい町で移住促進を

・ここで子育てしたいと思える町へ

・子どもが群れて安全に遊べるまち

・庁舎建設と市街地活性化の取り組みは

・当事者に寄り添い早期検討を

・どうする？まち再生と公共施設

・子育て世代へのさらなる支援を

議案審議結果、議員定数と議員報酬・・・・・・・・・・・・・・ p.20

8月臨時会・9月定例会・各報告など



地元食材が使われた給食を食べる児童（とうべつ学園提供）

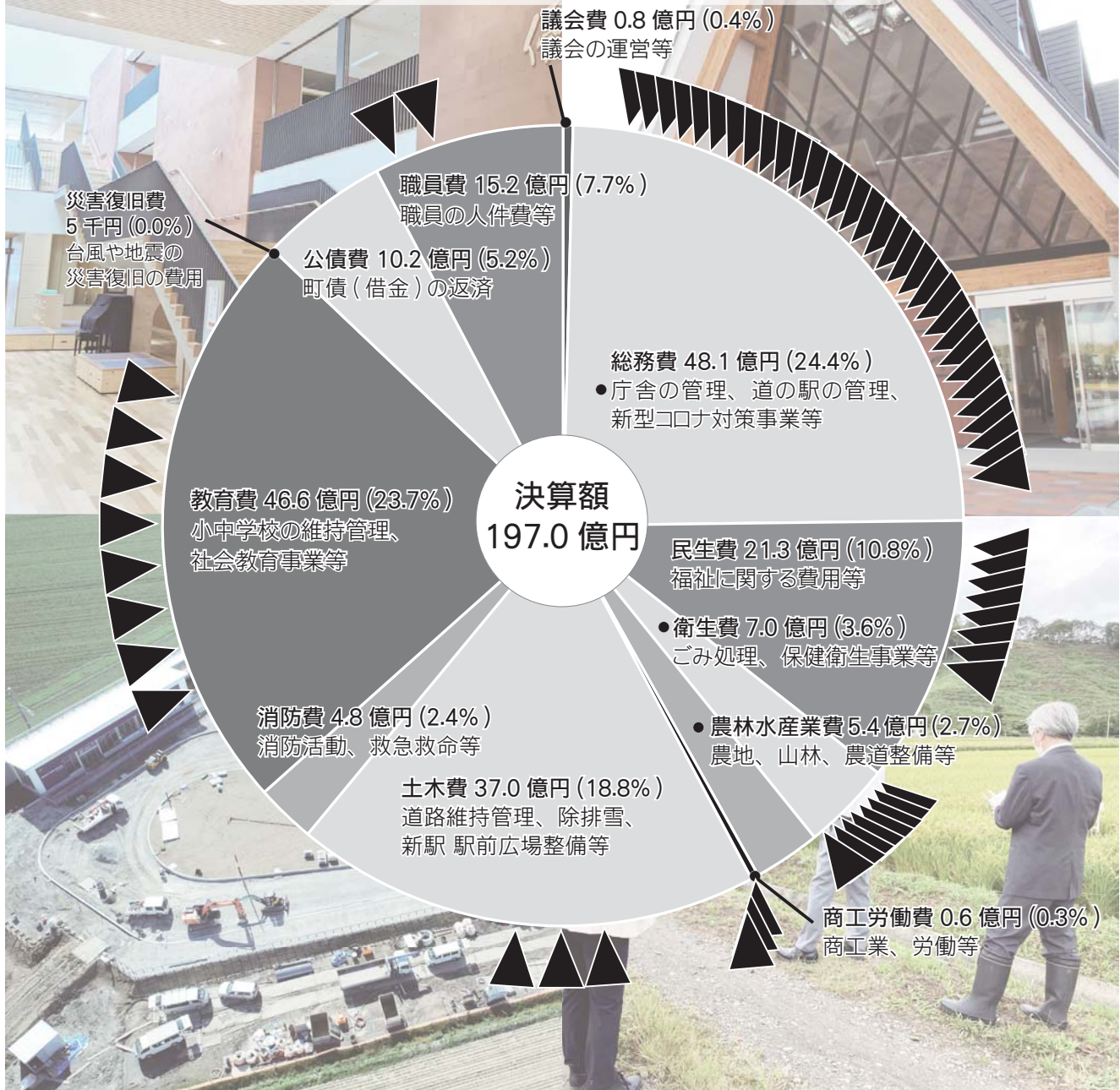
# 私達は、ここに注目しました！

## 令和3年度 各会計決算審査

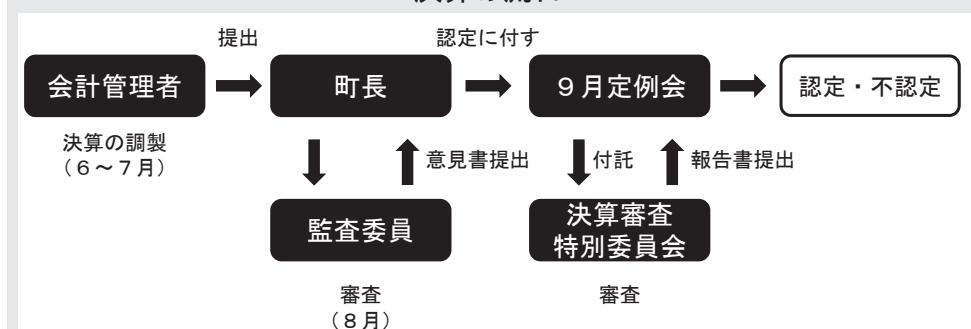
### 一般会計歳出

※一般的な行政にかかる経費の支出

▶ … 決算審査で各委員が質問したところ



### 決算の流れ



決算審査特別委員会  
インターネット動画配信



議会だよりに掲載していない  
質疑の様子が見られます。



9月20日・21日・27日  
8月5日、9月14日  
8月5日、9月15日

令和3年度各会計決算審査特別委員会  
総務文教常任委員会  
産業厚生常任委員会

## 特集 1

# 介護サービス事業の経営

## 収支赤字が続く介護サービス 事業運営へ一定の方向性

介護サービスとは、介護を必要とする人が受けられる介護保険に基づいたサービスの総称で、利用者の自宅での家事援助や、訪問・通い・宿泊を組み合わせたもの、介護保険施設に入所、福祉用具貸し出しなど多くの種類があります。

当別町では、デイサービス事業、ホームヘルプサービス事業を実施していますが、近年、利用者の減少などにより事業収支が赤字となっており、町直営の事業運営について、議会でも度々話題となっていました。

### 介護難民が出ないように



総合保健福祉センターゆとろ

### 介護サービス事業の赤字は

デイサービス事業・ホームヘルプサービス事業

**問** 介護サービス事業特別会計について、実質収支が令和2年度1,283万円の赤字となっているが主な要因は何か。

**答** デイサービス、ホームヘルプサービスともにコロナとは関係なく、ここ数年利用者増加が見込めていないことが大きな要因。また、利用者の要介護度によっても収入が増減することなどの状況により、最終的な赤字額となっている。

### 介護サービスの将来は

デイサービス事業・ホームヘルプサービス事業

**問** 町にはサービスを提供し続ける責務もあるが、赤字が続くようであれば、事業を継続して良いのかという問題も出てくる。介護サービス事業は今の体制で続けていく考えなのか。

**答** 町民が介護難民にならないことが大前提だが、赤字が続くのも当然良い状況ではない。2つのサービスは、令和5年度までの契約期間の中で、今後の方向性を定めていかなくてはならない。

### 『適正な決算と認定』 決算審査特別委員会報告



令和2年度各会計決算審査特別委員会  
西村委員長（写真左）・鈴木副委員長（写真右）

### 介護サービス事業特別会計の赤字

令和3年度介護サービス事業における約2,544万円の収支不足について、令和4年度会計から繰り上げ補填すると説明がありました。

不足の要因は、訪問介護の利用回数大幅減、通所介護の1日平均利用者数の減、令和3年度はコロナ関係の交付金がなかったことなどです。ここ数年の収支悪化から、町直営の維持や事業縮小について検討を行い、その検討にあたっては利用者を第一に考え、町内事業者の負担が増えないように総合的に判断していくとのことでした。

過去の議論（とうべつ議会だより第207号と第210号から一部抜粋）

過去の議論では「今後の方向性を定めていかななくてはならない」と答弁がされていましたが、令和3年度各会計決算審査特別委員会において、「事業規模縮小や町内事業者への委託など全ての選択肢について、現在、検討している」と一定の方向性を示す答弁がありました。

### 介サ 特会

## 介護サービスの方向性

デイサービス事業・ホームヘルプサービス事業

**問** デイサービス事業、ホームヘルプサービス事業について、今後の方向性をどのように検討しているか。

**答** 規模を縮小して継続、町内事業者へ委託などの

選択肢があり、現在、定員を縮小した場合の設置基準の人員など、全て含めて経費を算定している。また、デイサービスは開設してから20年以上が経過しているので、設備更新も含めて運営が可能か検討している。

### 介護サービス事業特別会計の状況

	歳入	歳出	収支
R2決算	6,103万9,784円	7,387万680円	▲1,283万896円 (R3会計から補填)
R3決算	5,189万3,812円	7,678万550円	▲2,488万6,738円 (R4会計から補填)
R4予算	9,150万5,000円	9,150万5,000円	0円

※歳出には、それぞれ前年度の収支赤字補填額を含む

## 特集 2

## 除排雪の課題解決へ

## 除排雪の改善に向けて



昨シーズンの道路

土木費

## 除排雪まだまだ不十分では

町道除排雪事業 7億6,132万円

問

除排雪に関し、当初予算の目標は達成されていないと認識。堆積場不足、人手不足は承知しているが、除排雪連絡協議会や業者との連携、効果的な排雪の検討がまだまだ不十分だったのでは。

答

令和2年度の状況を踏まえ、臨機応変に対応してきたが、令和3年度は課題となってしまった。改善に向け、令和4年度以降さらに注意して取り組む。

## 太美に新しい雪堆積場

除排雪の課題解決へ向け、太美市街地に雪堆積場が新設されます。太美全体の排雪時間縮減が期待されています。また、夏場は住民の「憩いの場」として活用できるように整備が進められます。



新しい雪堆積場の写真（太美町）

太美雪堆積場位置図（一部抜粋）



土木費

## 新雪堆積場の容量は

令和4年度補正予算審議

問

新雪堆積場は2.5mの高さまで雪を入ると2万3,000立方メートルが入るとのことだが、太美北、獅子内、太美寿の3町内会の生活道路や公共施設の排雪量を見通したものなのか。

答

3町内会と公共施設の排雪実績は、5か年平均で2万2,900立方メートルであり、現在計画している2万3,000立方メートルで賄える試算をしている。

土木費

## 太美の排雪時間短縮へ

令和4年度補正予算審議

問

3町内会以外にも、ダンプ路線となるスウェーデン大通を優先して排雪しなければならない。一部だけ遠くへ排雪となるのは効率が悪いので、効率の良い排雪をしてもらうよう期待する。

答

この堆積場は、3町内会と公共施設分だけが、堆積場が近くなれば短時間で排雪が済み、次に早く入れる。結果、太美全体の排雪時間縮減にもなるので、今シーズン大きな成果を上げたい。



# 「当別モデル」に多くの質問

## 新雪堆積場 騒音や安全性は

土木費

### 新雪堆積場の安全性は

令和4年度補正予算審議



新しい雪堆積場は住宅地に隣接

問

新しい雪堆積場が住宅地に隣接していることから、騒音や安全性などの懸念があると、住民から町へ要望書が提出されたと聞いた。その要望に対して、どのように対応していくのか。

答

振動・騒音、通学路安全対策など、6点の要望をいただいた。地域との協議、誘導員配置、注意看板や柵設置等、万全を期して対応する。初めての試みのため、地域の意見を聞きながら進める。

## 夏は「憩いの場」に

土木費

### 新雪堆積場の夏季利用

令和4年度補正予算審議

問

夏は憩いの広場として町民に開放するとのことだが、どのようなイメージの憩いの広場なのか。対象者は誰で、どのような形態で開放するかなど、詳細は。

答

多目的広場、憩いの広場を想定。対象は町内全域の方と考え、遊歩道やベンチを設置する。具体的な整備内容はこれから詰め、来年度予算で、必要な経費を計上したい。



夏は憩いの場に（写真はイメージ）

## 除排雪「当別モデル」へ第一歩

土木費

### 3町内会にこだわらずに

令和4年度補正予算審議

問

新雪堆積場は新しいスタイルであり、街中に作る発想は今までなかった。初年度のため問題は出てくると思うが、3町内会に限らず、状況を見て近隣住民の雪捨て場とするなどの対応は。

答

3町内会以外の部分も考えているが、まずはこの形で、地域住民の理解や評価も押さえながら進めたい。除排雪の「当別モデル」の第一歩として是非成功させたいと考えている。



新雪堆積場前のスウェーデン大通

## 特集 3

## 当別町独自の学習支援

## 学力向上へ「学びのハンドブック」配布

当別町教育委員会では、学校と家庭がより連携し、児童生徒へしっかりとした学力を身につけさせるため、「学びのハンドブック」を配布しています。

教育費

## 学びのハンドブック活用

小中一貫教育推進事業 1,133 万円

問

学びのハンドブックを作成し、小中学校の全家庭に配布したとのことだが、成果はあったのか。

答

町独自施策として小中学校の全家庭に配布。9

年間の学習領域等を掲載しており、保護者からは、今どのような学習をしているか分かりやすいなどの声をいただいている。今後、各家庭にアンケートを実施し、より有効活用されるように検討していきたい。

当別町立学校シラバス

## 学びのハンドブック



学びのハンドブック

教育費

## 不登校の家庭にも配布

小中一貫教育推進事業 1,133 万円

問

現在、学校に行けていない子どもに関しても、その家庭へ学びのハンドブックを配布しているのか。学校に行けていない児童生徒との関わりなどは、どのように対応されているのか。

答

学校に行けていない子の家庭にも配布。適応指導教室でも活用しているので、今何年生で何を学習するか目安としてもらいながら、学校では保護者と連携を図って対応を進めている。

教育費

## 適応指導教室の通信環境

教育情報システム運用事業 2,343 万円

問

適応指導教室には Wi-Fi 環境がなく、タブレットを活用できないとの答弁が以前あったが、現在は改善されているのか。

答

学校と同じシステムにはなっていないが、公共の Wi-Fi スポットを活用して対応している。

## 通学時の安全確保



児童の登下校の様子（とうべつ学園提供）

教育費

## 通学かばんの重さ対策は

小中一貫教育推進事業 1,133 万円

問

以前、通学かばんの重さについて、実態を捉えて対策すると答弁されたが、この1年間で実態をどのように捉えたのか。

答

教材自体が重くなったり、コロナ対策に水筒を

持参していること、同年でも体格が異なることなど複合的に考える必要がある。学校は置き勉を行いかばんの重さについて配慮を進めている。通学時の児童生徒の安全確保が重要なため、引き続き学校と協議していく。



# 子育て世帯が住みよいまちへ

## 教育・子育て環境の充実

### 教育費

#### 地域で部活動を支える

地域運動部活動推進事業業務委託 61 万円

#### 問

休日部活動を地域委託とする事業が、令和3年度から始まったが、子どもや保護者の声はどうだったのか。教育委員会として、成果をどのように見ているのか。

#### 答

生徒の67%、保護者の約半数が続けてほしいと回答。国が示すとおり受益者負担を求めることが課題。支援することも示されているが、具体的な内容がまだ見えないため、今後も検証を進める。

### 民生費

#### あそびのひろば予約方法

子育て支援センター費 319 万円

#### 問

あそびのひろばは、現在、新型コロナ対応のため、前日までの予約が必要だが、当日予約も可能となれば、より利用者も増えるのではないか。その検討はしているか。

#### 答

現在、新型コロナ対応のため、予約制にして利用制限を行っているが、当日の問い合わせでも、定員がいっぱいでない限り受け付けている。昨年も7組14名が当日申込みで利用している。

## 学校給食も地産地消

### 教育費

#### 給食への地元食材活用

給食収入 4,757 万円

#### 問

学校給食には、どのような当別町産の食材が使われているのか。また、どれぐらいの割合で使われているのか。

#### 答

当別町産の人参、トウモロコシ、ジャガイモ、大豆、キャベツ、カボチャなどの野菜、豚肉や鹿肉、お米、いもだんごを使っている。金額は約948万円で、賄材料費全体の約2割となっている。



当別町産の食材が使われた給食

## 子育て世帯の転入へ向けて



※家具は付属しません

COCOTTO の内装

### 土木費

#### 公共賃貸住宅 <sup>コ</sup><sup>コ</sup><sup>ト</sup>COCOTTO

公共賃貸住宅整備事業 3,720 万円

#### 問

令和2年度に改修した子育て世帯向け公共賃貸住宅の入居状況や賃貸収入率など、現在の状況は。また、入居率を上げるためにどのような努力をしているか。

#### 答

現在8戸中6戸、75%の入居率となっている。入居率を上げるため、町の広報・HPや新聞広告への掲載、パンフレット配置、ルームツアー動画のSNS掲載など、PR活動を行っている。